

市指定

所在地：高倉

わにぐち 鱧 口

当鱧口には天文17年（1548）の紀年銘があり、市内でも最も大きな部類の鱧口である。

鱧口とは寺院の本堂や神社の本殿にかけられ、参拝者がこれを打ち鳴らし、神仏へ本意を伝えるものである。扁平な円形を呈し、側面下部に鱧の口に見立てた共鳴口が付けられる。

高蔵寺所在。

外径45cm、厚さ20cm。

